

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 4 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	洋上風力発電事業に関する調査・研究及び理解促進事業
補助事業者名	いちき串木野市
補助事業の概要	「風」資源を活かした再生可能エネルギーの 1 つである洋上風力発電事業に関する理解促進、関係者の意向把握、合意形成を得ることを目的に、洋上風力発電施設に関する各種情報の収集・整理し、市民を含む協議会で共有することで理解促進や合意形成等を図った。また併せて、再生可能エネルギーに関する市民の理解促進を目的に、シンポジウムを実施した。
総事業費	39,557,000 円
補助金充当額	39,557,000 円
定量的目標	本事業により、洋上風力発電事業に対する関係者等の合意形成が得られるとともに、多くの市民へ再生可能エネルギーの導入促進を含むエネルギー構造高度化等の理解促進を図られ、令和 7 (2025) 年度再エネ海域利用法に基づく「促進区域」への指定を目指す。また、洋上風力発電所の建設、運用・維持管理などにより令和 14 (2032) 年度を目標に 10 名以上の雇用創出を目指すほか、その後、サプライチェーンに伴う産業振興や発電事業により、令和 15 (2033) 年度には新たな地域貢献施策 (2 つ以上) の実現を目指し、地域課題の解決を図る。また将来的には水素産業の誘致や観光資源としての活用など再生可能エネルギーの拠点を目指す。
補助事業の成果及び評価 (事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど)	本事業により、洋上風力発電事業に対する関係者等の合意形成が得られたとともに、多くの市民へ再生可能エネルギーの導入促進を含むエネルギー構造高度化等の理解促進を図れた。具体的には、洋上風力発電事業構想の実現に向けて、まずは国の促進区域指定に伴う情報提供へ、市一丸となり取り組んでいくことで関係者の合意形成がなされた。また、シンポジウムの結果では、洋上風力への理解が「大変深まった」「深まった」が 58%「深まらなかった」が 9%となっており、イメージが「良くなった」「どちらかといえば良くなった」が 44%「悪くなった」「どちらかといえば悪くなった」が 16%となり理解促進を図ることができた。 将来的に地域課題の解決や雇用創出を図るための調査を実施した。調査の中では、洋上風力発電所の建設に伴う雇用数や経済波及効果の推計や地域貢献策の先進事例の情報を収集し、洋上風力発電を中心とした再生可能エネルギーの拠点化に向けた環境

	整備が進んだ。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約(間接補助)の目的	①業務全般(洋上風力に係る各種調査・検討、洋上風力発電調査研究協議会運営支援、市民シンポジウム運営支援) ②海洋生物調査の現地対応支援
	契約の方法	公募型プロポーザル方式
	契約の相手方(間接補助先)	株式会社 建設技術研究所
	契約金額(間接補助金額)	39,391,000円
来年度以降の事業見通し	先進事例の資料収集調査等を実施するとともに、今後必要となる漁業振興や地域振興策について、新たに関連事業者等も含めた既存協議会で検討を図る。また、前年の調査結果を広く周知するため、市民説明会を実施する。	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。